

詳細情報

名前（ふりがな）	高取 芳宏（たかとり よしひろ）
生年・出身地	1963年4月8日・東京都出身
職業・肩書	弁護士（日本及び米国ニューヨーク州） 国際仲裁人・英国仲裁人協会上級仲裁人(F.C.I.Arb.)
所属	霞ヶ関国際法律事務所・国際仲裁 Chambers
勤務先住所	東京都千代田区
専門分野	国際紛争解決 仲裁・調停 サイバーセキュリティ 知的財産権 製造物責任訴訟 民事・商事訴訟 独占禁止法 労働法
著書	<ul style="list-style-type: none"> ● 「解決までのプロセスを追う 外国企業との紛争に備えるための3ステップ」（2022年1月号 ビジネス法務 中央経済社）著書 ● 「国際仲裁・調停へのオンライン活用のケーススタディと実務上の留意点について」「仲裁とADR 第16号」実務の潮流（2021年6月 仲裁ADR法学会 商事法務）著書 ● 国際仲裁と国際調停の連携 – “Arb.-Med.-Arb.”（NBL No. 1193 2021年5月）著書 ● 「仲裁・調停手続機関におけるオンライン紛争解決手続と戦略的利用の視点」（2021年4月 ビジネス法務 中央経済社）著書 ● 「国際仲裁・調停におけるサイバーセキュリティ」（2021年2月 仲裁・ADR フォーラム Vol.7 信山社）共著 ● 「How Companies Can Prepare for Global Disputes in the Era of Japan's Work Style Reform」（2020年9月 Japan Commercial Arbitration Journal VOL.1 一般社団法人日本商事仲裁協会）共著 ● 「日本とEU間の相互の円滑な個人データ移転

	<p>をどのように活用するか」(2019年6月JCAジャーナルN.744) 共著</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「国際商事仲裁における仲裁人の選任」(2019年3月 仲裁・ADRフォーラム Vol.6 信山社) 共著 ● 「国際模擬仲裁・調停の意義と活用(上) — 法務省および英国仲裁人協会共同開催の国際模擬仲裁・調停について」(NBL No. 1129、2018年9月) 共著 ● 「Japan's New Bid to Compete in Arbitration - Opening Up」(2018年5月 Asian Business Law Journal) 著書 ● 「最新 クロスボーダー紛争実務戦略」(2016年6月 レクシスネクシス・ジャパン) 編者 / 共著 ● 「国際仲裁教材」(2015年6月 信山社) 監修 ● 「訴訟・コンプライアンスのためのサイバーセキュリティ戦略」(2015年4月 NTT出版) 編者/共著 ● 「企業間紛争解決の鉄則 20」(2012年9月 中央経済社) 著書
過去に担当した JSAA 仲裁案件	<p>N/A</p> <p>但し国際ウエイトリフティング連盟(IWF)が設置した倫理懲罰委員会(EDC)にて懲罰案件の仲裁人を複数経験</p>
担当仲裁案件	<p>国際取引</p>
仲裁に関する役職	<ul style="list-style-type: none"> ● 英国仲裁人協会(CI Arb.) 日本支部共同代表 ● 公益法人日本仲裁人協会常務理事 ● 国際仲裁総合研究所(JIART) 常務理事 ● SIMC(シンガポール国際調停センター) 専門家調停人 ● SIAC, KCAB, JCAA 仲裁人名簿掲載